

会 議 録

会議の名称	令和7年度 第2回行田市下水道事業運営審議会
開催日時	令和7年8月18日（月） 開会：午前10時00分 閉会：午前10時50分
開催場所	水道庁舎 2階 第3会議室
出席者（委員） 氏 名	小林 修 委員 田尻 要 委員 小野寺貴男 委員 日野 努 委員 長島敬二 委員 栗原芳江 委員 茂木美智代 委員 今井好江 委員 計 8 名
欠席者（委員）氏名	安原一夫 委員
事 務 局	高橋都市整備部長 五十幡都市整備部次長兼下水道課長 下水道課：渡辺主幹 松本主幹 桑原主査 上下水道経営課：根岸課長 横田主幹 田辺主査
会 議 内 容	議題 1 公共下水道事業経営戦略について
会 議 資 料	次第 行田市公共下水道事業経営戦略（概要版）
そ の 他 必要事項	傍聴者なし

発言者	内 容
司 会	開会 出席人数と審議会成立 傍聴人の有無の報告 会長挨拶（小林会長） 事務局挨拶（高橋都市整備部長）
司 会	行田市下水道事業運営審議会条例第6条第1項の規定に基づき、議事の進行を小林会長にお願いする。
議 長	暫時、議長として議事の進行を務めさせていただくので、ご協力をお願いする。 議題1、「公共下水道事業経営戦略」について、事務局から説明を求める。
事 務 局	（説明）
議 長	先程の説明について、意見等はあるか。
長島委員	資料 8 ページについて、目標の水準を達成するためには、使用料を10%改定することが前提になっているような印象をうけるが、どうしても記載しなくてはいけないのか。
事 務 局	使用料改定に関する記載内容は、国の交付金の交付要件となっており、ある程度記載せざるを得ないという事情がある。ただ、今回記載した内容は、将来の使用料改定の時期や改定率を決定するものではなく、あくまで今後の経営を考える上での参考として示している。
長島委員	例えば、参考ということで、括弧書きで書くことはできないのか。
事 務 局	表現については検討する。 ここでは10%改定と示しているが、いろいろなパターンを想定して試算している。この目標値が掲げている4つの要件、例えば、今の企業債残高対事業規模比率は、起債残高が1000%程度、全国平均はもっと低い状況。例えばそこまでの水準にするとどうなるか、これは10%より改定率をもっと上げなければならない、しかもまた5年ごとに見直しを考えなければならないという水準になり、これは現実的ではない。なるべく使用者の負担も最低限にとどめた中で、将来にわたって事業が安定的に継続できるところとして、10%改定として記載をした。

発言者	内 容
事 務 局	補足すると、令和15年度の10%の値上げは現段階のシミュレーションであり、5年後に中間評価で今のシミュレーションを改めて確認する。5年後に中間評価をするという様な文言が入れられるか確認する。
議 長	他に質疑等はあるか。 私から、何点か伺う。 1 点目 5ページの3番「経営基盤の強化」で、企業債残高の削減とあるが、この削減の考え、シミュレーション方法を教えてほしい。 2 点目 7ページの有収水量の推移で、有収水量と有収率の違いは何か。
事 務 局	企業債残高については、類似団体全国平均と比べても残高が多くなっている。企業債残高が多いのは、3ページの流動比率が低いことの要因にもなっている。すぐに企業債残高を全国平均程度にするのは難しい状況であり、少しずつ減らして経営を安定化させる設定にしている。 2点目の有収水量とは、使用料収入の対象となった污水处理水量のことである。不明水、雨水等含む下水を使った総処理水量に対し使用料収入となった水量の割合が有収率である。
議 長	それはわかるが、有収水量の推移の表で、有収率の向上ということなら別の表し方がいいのではないか。
事 務 局	このグラフに有収水量の10年間の推計があるが、有収率の目標を設定した方がいいということか。
議 長	目標は四つで、有収率と水洗化率、料金の見直し、区域の見直しとなれば、有収率の表の方がインパクトがあるのではないか。
事 務 局	このグラフは、あくまでも今後の見通しが右肩下がりということで載せている。また、有収率の向上も経営基盤の強化には重要なことと考え、記載方法は検討する。
事 務 局	企業債残高の減少方法については、普及促進を強化し利用者を増やすことや、長寿命化を図りながら工事を平準化することで歳出の削減を図ること。また、国の財源を活用しながら定期的な修繕や維持管理することなどを今後のやり方として考えている。
議 長	他に、質疑等はあるか。
日野委員	最後の10ページ②の機能を同じくする施設について統合を検討する とはどのようなイメージか。

発言者	内 容
事 務 局	下水道事業の全体計画、約2800ヘクタールあったものを約1200ヘクタールプラスアルファぐらいに半減したことで、今まで目標にしていた、いろいろな施設が過剰になってくる。ポンプ場の統合、縮小、使用しないといった検討をしていく。ダウンサイジング及びスペックダウンについては、そのように考えている。
議 長	他に意見等はあるか。 他に意見等がないようなので、議題1、公共下水道事業経営戦略について終了とし、議長の職を辞する。
司 会	事務局より事務連絡事項を2点申し上げる。 1点目、次回委員会の開催予定と主な内容について説明。 2点目、会議録の確認方法について説明。 閉会